

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和元年6月14日

計画の名称	民間活力による未来の公園づくりの推進			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和2年度～令和2年度（1年間）	交付対象	福山市		
計画の目標					

- 年間約60万人が利用する中央図書館や中部生涯学習センターと隣接している立地特性を生かした公園の整備・使い方とする。
- 中央公園の賑わいが周辺商店街や福山駅周辺の賑わいに派生し、エリア価値の向上につながるものとする。

計画の成果目標（定量的指標）	○民間事業者がP-PFI手法によって特定公園施設を整備する。				
----------------	--------------------------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)	
	0	—	2	
民間事業者による特定公園施設整備件数（整備数/修景施設・休憩施設の2整備）				

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7百万円	A	7百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%
-------	-----------------	------	---	------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R2								
A12-001	都市公園	一般	福山市	間接	福山市	P-PFI事業（中央公園）	公園施設の設置	福山市						7	—	—	
合計													7				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考





交付金の執行状況

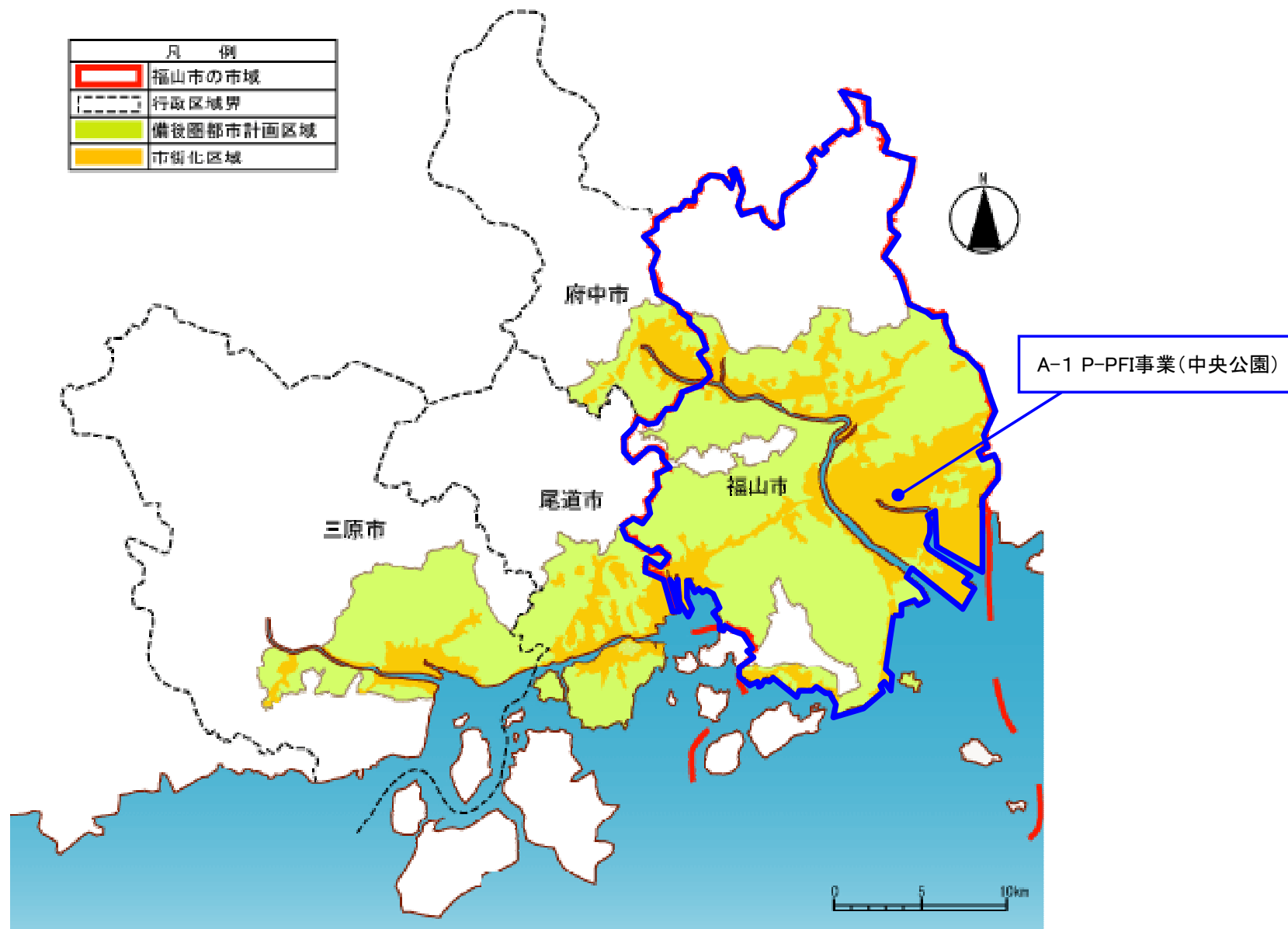
(単位:百万円)

	R2				
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	民間活力による未来の公園づくりの推進		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和2年度（1年間）	交付対象	福山市

凡 例	
	福山市の市域
	行政区域界
	備後圏都市計画区域
	市街化区域



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：次代へつなぐ都市公園の再生

事業主体名：福山市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合性	
1)上位計画等との整合性が確保している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえた目標の設定がされている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標及び事業内容の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)継続的な整備が見込まれる。	○
2)新規の施設整備を行う場合、実施の確実性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○